



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	91,851	3.2	6,601	191.3	6,930	167.9	4,975	196.2
27年3月期第2四半期	88,993	9.5	2,266	8.3	2,587	9.6	1,679	33.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5,500百万円 (183.5%) 27年3月期第2四半期 1,939百万円 (△17.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	19.12	—
27年3月期第2四半期	6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	160,504	73,314	43.9
27年3月期	152,855	69,393	43.4

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 70,436百万円 27年3月期 66,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	1.2	9,000	51.5	9,500	45.5	6,200	62.9	23.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 森永アメリカフーズ(株) 、除外 1社 (社名)
 (注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	270,948,848 株	27年3月期	270,948,848 株
28年3月期2Q	10,692,107 株	27年3月期	10,658,302 株
28年3月期2Q	260,272,828 株	27年3月期2Q	260,334,760 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3.	四半期連結財務諸表	7
	(1) 四半期連結貸借対照表	7
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	9
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	10
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
	(継続企業の前提に関する注記)	13
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	13
	(セグメント情報等)	13

※参考資料 平成28年3月期 第2四半期決算短信補足資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、主力の食料品製造事業が好調に推移し、全体では918億5千1百万円と前年同期実績に比べ28億5千8百万円(3.2%)の増収となりました。

損益は、売上高が増収であったこと及び売上原価率の改善、マーケティングコストの効果的な投入等により、営業利益は前年同期実績に比べ43億3千5百万円(191.3%)増益の66億1百万円、経常利益も前年同期実績に比べ43億4千3百万円(167.9%)増益の69億3千万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期実績に比べ32億9千6百万円(196.2%)増益の49億7千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。当第2四半期連結累計期間の比較、分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は「3. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照下さい。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内では、発売40周年を迎えた主力ブランド「ハイチュウ」の定番品に加え、袋タイプのアソート品や期間限定品などの売上が好調に推移し、「ダース」「森永ココア」も前年同期実績を上回りました。

一方、「森永ビスケット」はほぼ前年同期実績並み、「ミルクキャラメル」「チョコボール」「おとっと」が前年同期実績を下回り、主力7ブランド全体では前年同期実績を下回りました。

その他のブランドでは、「カレ・ド・ショコラ」は前年同期実績並みとなりましたが、「バイク」をはじめ、その他商品群が好調に推移し、国内全体では前年同期実績を上回りました。

海外では、米国、中国、台湾は前年同期実績を上回りましたが、インドネシアが苦戦したことで、海外全体では前年同期実績を下回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は535億6千5百万円と前年同期実績に比べ4億1千2百万円(0.8%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」及び「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループは、引き続き好調に推移しました。また、「パリパリバー」「パキシエル」等のマルチパック商品や「アイスボックス」も好調に推移したことで、前年同期実績を上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は201億1百万円と前年同期実績に比べ8億5千万円(4.4%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダー i nゼリー」は、商品の機能性を訴求した広告展開の効果等もあり、前年同期実績を大きく上回りました。「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」「パセノールTM」関連商品が前年同期実績を上回り、通販事業全体では前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は138億6千9百万円と前年同期実績に比べ18億8百万円(15.0%)増となりました。

[主力商品前年同期比(単位：％)]

菓子食品部門		冷凍部門	
チョコボール	81	ジャンボグループ	107
ダース	103	マルチパック	113
森永ビスケット	99	アイスボックス	109
ハイチュウ	107	健康部門	
おととと	92	ウイダー i nゼリー	118
ミルクキャラメル	93	おいしいコラーゲンドリンク	105
森永ココア	103	パセノール TM 関連商品	306
菓子食品主力品計	98		
ベイク	102		
カレ・ド・ショコラ	100		

※表内の数値は国内売上高にて算出

これらの結果、＜食料品製造事業＞の売上高は875億3千6百万円と前年同期実績に比べ3.6%増となりました。セグメント利益は63億5千8百万円と前年同期実績に比べ43億7千1百万円の増益となりました。

＜食料卸売事業＞

売上高は、26億7千7百万円と前年同期実績に比べ5.6%減となりました。セグメント利益は1億5千9百万円と前年同期実績に比べ1千2百万円の増益となりました。

＜不動産及びサービス事業＞

売上高は、ゴルフ事業、不動産事業共に前年同期実績を下回り、事業全体で13億4百万円となりました。セグメント利益は3億5千7百万円と前年同期実績に比べ1千9百万円の減益となりました。

＜その他＞

売上高3億3千2百万円、セグメント利益4千6百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,605億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ76億4千9百万円増加しております。主な要因は、連結範囲の変更に伴い投資有価証券が減少した一方、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は871億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億2千8百万円増加しております。主な要因は、流動負債の未払金、未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は733億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億2千1百万円増加しております。主な要因は、利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.5ポイント上昇し43.9%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ88億6千5百万円増加し、204億6千7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は82億2千9百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ43億6千2百万円増加となりました。主な内容は、税金等調整前四半期純利益の増加などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は4億2百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出及び有形固定資産の売却による収入によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は19億1千万円となりました。主な内容は、配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前 回 発 表 予 想 (A)	180,000	6,200	6,600	4,500
今 回 修 正 予 想 (B)	180,000	9,000	9,500	6,200
増 減 額 (B - A)	0	2,800	2,900	1,700

第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は主力の食料品製造事業が予想より伸ばしたことに加え、原材料価格上昇の影響が予想を下回ったことや、原価低減の取り組み効果及び商品規格の見直し等により、損益は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前回予想を上回りました。

第3・4四半期は、主として海外の売上高を当初の予想より下方修正いたします。損益につきましても、売上高の下方修正及び国内、海外ともに経営基盤の強化に向けたマーケティングコストの投入等により下方修正いたします。

第2四半期連結累計期間の実績と第3・4四半期の修正予想を踏まえ、通期連結業績予想数値を上記の通り修正いたします。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成27年11月4日発表の「平成28年3月期第2四半期連結累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、持分法適用の非連結子会社であった森永アメリカフーズ(株)は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

なお、第1四半期連結会計期間より、新たに設立した森永市場開発(株)（平成27年4月1日設立）を連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、
支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、
取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。
また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による
取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる
方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への
表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結
会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組み替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない
子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の
区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない
子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動による
キャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)
及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計
期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,602	20,867
受取手形及び売掛金	19,035	20,679
商品及び製品	8,931	9,275
仕掛品	662	975
原材料及び貯蔵品	5,414	5,126
繰延税金資産	1,752	2,108
その他	3,612	3,590
貸倒引当金	△11	△6
流動資産合計	50,999	62,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,141	22,600
機械装置及び運搬具(純額)	17,182	16,208
土地	30,843	29,043
その他(純額)	1,586	5,598
有形固定資産合計	72,754	73,451
無形固定資産		
のれん	2,310	2,130
その他	513	499
無形固定資産合計	2,823	2,629
投資その他の資産		
投資有価証券	23,114	18,769
退職給付に係る資産	1,225	1,424
繰延税金資産	535	608
その他	1,445	1,044
貸倒引当金	△42	△42
投資その他の資産合計	26,277	21,804
固定資産合計	101,855	97,885
資産合計	152,855	160,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,776	17,682
短期借入金	912	204
未払金	7,757	9,566
未払法人税等	1,478	3,120
賞与引当金	1,868	2,017
その他	7,858	7,968
流動負債合計	37,653	40,560
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,851	16,456
繰延税金負債	4,716	4,914
役員退職慰労引当金	95	83
環境対策引当金	478	478
退職給付に係る負債	7,603	7,828
資産除去債務	132	134
受入敷金保証金	6,295	6,139
その他	635	593
固定負債合計	45,808	46,628
負債合計	83,461	87,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	23,080	26,494
自己株式	△2,551	△2,569
株主資本合計	56,328	59,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,222	8,955
繰延ヘッジ損益	62	22
為替換算調整勘定	1,847	1,832
退職給付に係る調整累計額	△134	△97
その他の包括利益累計額合計	9,998	10,712
非支配株主持分	3,067	2,878
純資産合計	69,393	73,314
負債純資産合計	152,855	160,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	88,993	91,851
売上原価	48,071	46,716
売上総利益	40,921	45,134
販売費及び一般管理費	38,655	38,533
営業利益	2,266	6,601
営業外収益		
受取利息	15	23
受取配当金	255	250
持分法による投資利益	—	15
その他	243	239
営業外収益合計	514	528
営業外費用		
支払利息	82	80
持分法による投資損失	9	—
その他	101	118
営業外費用合計	193	199
経常利益	2,587	6,930
特別利益		
固定資産売却益	12	555
特別利益合計	12	555
特別損失		
固定資産除売却損	102	170
減損損失	—	12
特別損失合計	102	183
税金等調整前四半期純利益	2,496	7,301
法人税、住民税及び事業税	1,264	3,017
法人税等調整額	△464	△569
法人税等合計	800	2,447
四半期純利益	1,696	4,854
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△120
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,679	4,975

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,696	4,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	600	742
繰延ヘッジ損益	18	△37
為替換算調整勘定	△282	△85
退職給付に係る調整額	89	36
持分法適用会社に対する持分相当額	△184	△9
その他の包括利益合計	243	646
四半期包括利益	1,939	5,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	5,689
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	△189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,496	7,301
減価償却費	3,208	2,953
減損損失	—	12
のれん償却額	97	101
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△12
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	277	261
賞与引当金の増減額(△は減少)	244	149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△271	△273
支払利息	82	80
持分法による投資損益(△は益)	9	△15
固定資産売却損益(△は益)	3	△531
固定資産除却損	87	147
売上債権の増減額(△は増加)	△1,647	△1,684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,387	△361
仕入債務の増減額(△は減少)	525	△63
その他の流動資産の増減額(△は増加)	274	△38
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△4	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△331	△182
未払金の増減額(△は減少)	263	1,813
その他の流動負債の増減額(△は減少)	1,217	△87
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△54	△155
その他	4	3
小計	5,095	9,415
利息及び配当金の受取額	271	274
利息の支払額	△81	△83
法人税等の支払額	△1,418	△1,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,867	8,229
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,052	△2,501
有形固定資産の売却による収入	38	2,233
無形固定資産の取得による支出	△7	△19
投資有価証券の取得による支出	△1	△23
投資有価証券の売却による収入	—	0
その他	△59	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,082	△402

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	137	△722
長期借入れによる収入	—	612
長期借入金の返済による支出	△8	△10
自己株式の取得による支出	△5	△18
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△1,562	△1,561
その他	△202	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,641	△1,910
現金及び現金同等物に係る換算差額	△51	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	92	5,956
現金及び現金同等物の期首残高	4,765	11,602
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	2,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,857	20,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	84,466	2,835	1,358	88,660	332	88,993	—	88,993
セグメント間の内部売上高	384	87	293	765	836	1,602	△1,602	—
計	84,850	2,923	1,651	89,425	1,169	90,595	△1,602	88,993
セグメント利益	1,987	147	376	2,511	34	2,545	△279	2,266

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △279百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △176百万円、のれん償却額 △97百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	87,536	2,677	1,304	91,518	332	91,851	—	91,851
セグメント間の内部売上高	217	127	293	637	865	1,503	△1,503	—
計	87,754	2,804	1,597	92,156	1,198	93,354	△1,503	91,851
セグメント利益	6,358	159	357	6,875	46	6,922	△320	6,601

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △320百万円には、セグメント間取引消去 30百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用 △248百万円、のれん償却額 △101百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成27年4月1日に森永市場開発(株)を設立し、「食料品製造」及び「食料卸売」セグメントの一部事業を統合したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の見直しを行いました。

その結果、森永市場開発(株)は「食料品製造」セグメントに含め、従来「食料卸売」セグメント及び「その他」に含めていた森永ビジネスパートナー(株)は「その他」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

平成 28 年 3 月期 第 2 四半期決算短信補足資料

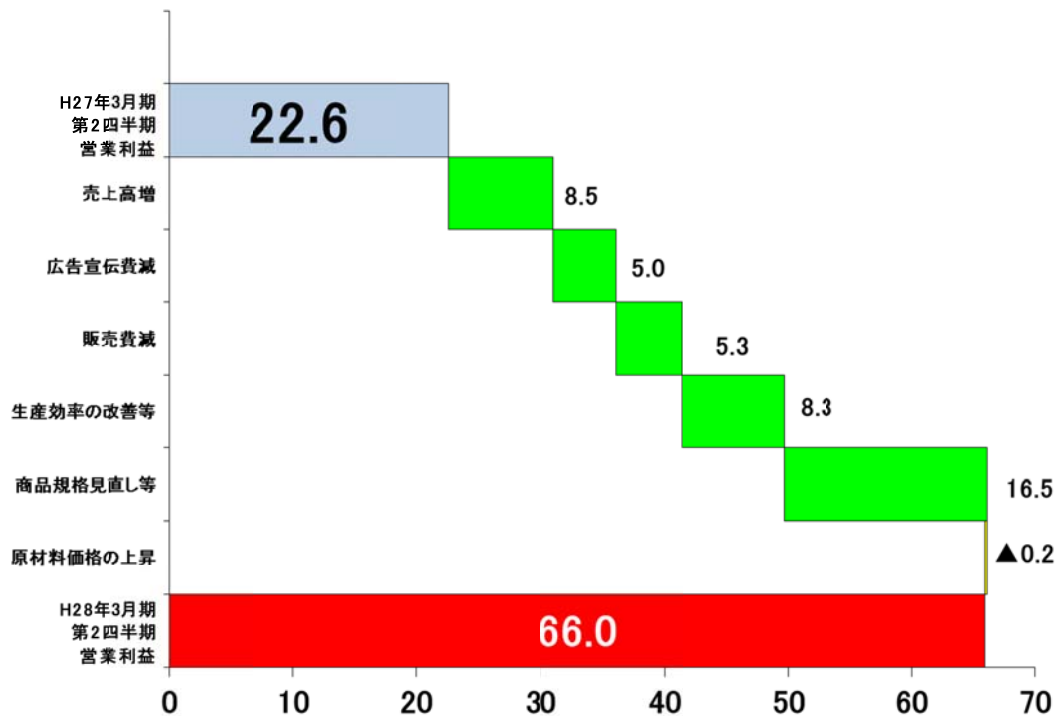
【当連結会計年度】

① 業績

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期		平成28年3月期 第2四半期		前期比較		
	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	金額	売上高比率(%)	増減率(%)
売上高	88,993		91,851		2,858		3.2
売上原価	48,071	54.0	46,716	50.9	▲ 1,355	△ 3.1	△ 2.8
販売費及び一般管理費	38,655	43.4	38,533	42.0	▲ 122	△ 1.4	△ 0.3
販売促進費	18,730	21.0	18,600	20.3	▲ 130	△ 0.7	△ 0.7
広告宣伝費	4,028	4.5	3,519	3.8	▲ 509	△ 0.7	△ 12.6
運賃	3,720	4.2	3,890	4.2	170	0.0	4.6
その他	12,175	13.7	12,522	13.6	347	△ 0.1	2.9
営業利益	2,266	2.5	6,601	7.2	4,335	4.7	191.3
営業外収益	514	0.6	528	0.6	14	△ 0.0	2.8
営業外費用	193	0.2	199	0.2	6	0.0	3.3
経常利益	2,587	2.9	6,930	7.5	4,343	4.6	167.9
特別利益	12	0.0	555	0.6	543	0.6	4,456.4
特別損失	102	0.1	183	0.2	81	0.1	78.6
税金等調整前四半期純利益	2,496	2.8	7,301	7.9	4,805	5.1	192.5
法人税等	800	0.9	2,447	2.7	1,647	1.8	205.9
四半期純利益	1,696	1.9	4,854	5.3	3,158	3.4	186.1
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	17	0.0	▲ 120	△ 0.1	▲ 137	△ 0.1	△ 810.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,679	1.9	4,975	5.4	3,296	3.5	196.2

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	84,466	87,536	3,070	103.6
(売上高構成比)	(94.9%)	(95.3%)		
セグメント利益	1,987	6,358	4,371	320.0
食料卸売				
売上高	2,835	2,677	▲ 158	94.4
(売上高構成比)	(3.2%)	(2.9%)		
セグメント利益	147	159	12	108.4
不動産及びサービス				
売上高	1,358	1,304	▲ 54	96.1
(売上高構成比)	(1.5%)	(1.4%)		
セグメント利益	376	357	▲ 19	94.8
その他				
売上高	332	332	0	100.1
(売上高構成比)	(0.4%)	(0.4%)		
セグメント利益	34	46	12	136.0

(注) 平成27年4月1日に森永市場開発㈱を設立し、「食料品製造」及び「食料卸売」セグメントの一部事業を統合したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の見直しを行いました。
その結果、森永市場開発㈱は「食料品製造」セグメントに含め、従来「食料卸売」セグメント及び「その他」に含めていた森永ビジネスパートナー㈱は「その他」に変更しております。
なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

④ 食料品製造事業 売上高

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	前期比較	前期比(%)
連結売上高	88,993	91,851	2,858	103.2
食料品製造	84,466	87,536	3,070	103.6
菓子食品	53,153	53,565	412	100.8
冷菓	19,251	20,101	850	104.4
健康	12,061	13,869	1,808	115.0
国内	78,525	82,222	3,697	104.7
海外	5,940	5,314	▲ 626	89.5
海外売上高比率(対連結売上高)	6.7%	5.8%		

⑤ 設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第2四半期	平成28年3月期 第2四半期	前期比較
設備投資額	1,189	1,552	363
減価償却費	3,208	2,953	▲ 255
研究開発費	1,009	1,044	35

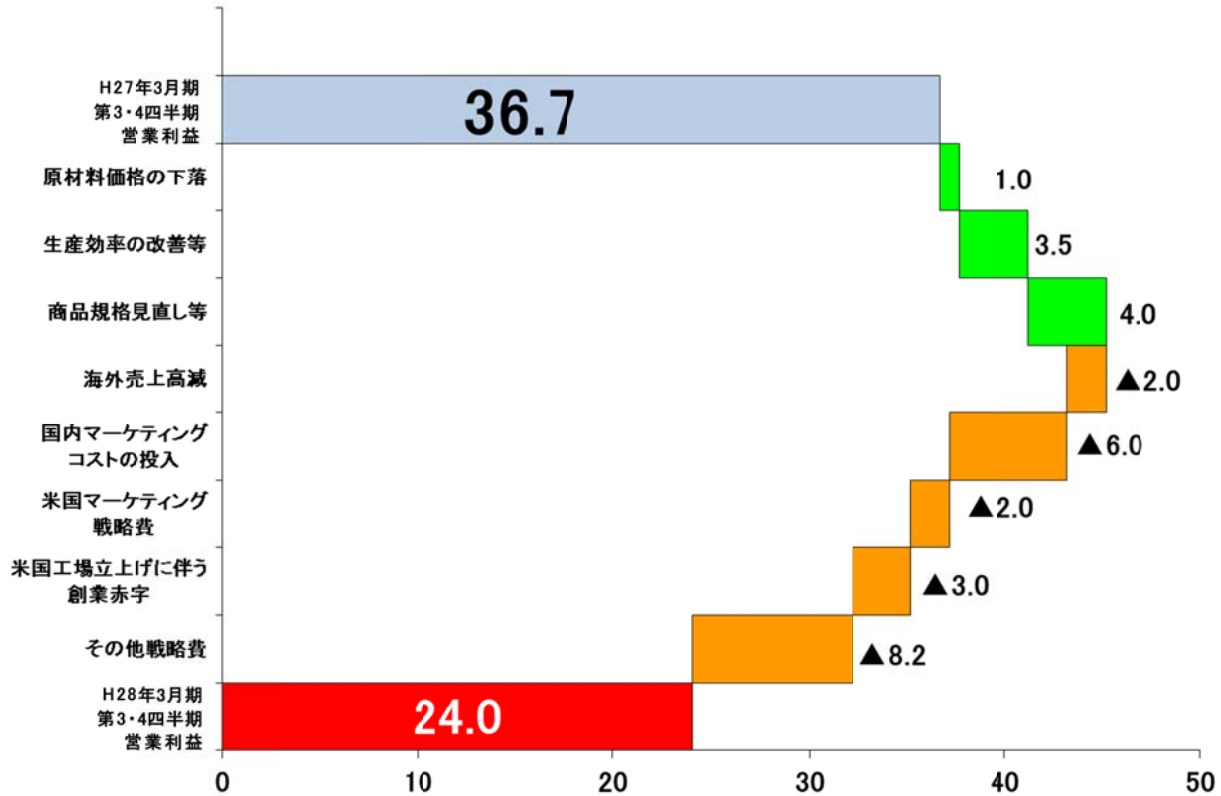
【下期予想】

① 業績

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第3・4四半期	平成28年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
売上高	88,936	88,148	▲ 788	99.1
営業利益	3,673	2,398	▲ 1,275	65.3
経常利益	3,943	2,569	▲ 1,374	65.2
親会社株主に帰属する当期純利益	2,126	1,224	▲ 902	57.6

② 営業利益増減分析



③ セグメント情報

(単位:百万円)

事業	平成27年3月期 第3・4四半期	平成28年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
食料品製造				
売上高	83,862	82,963	▲ 899	98.9
(売上高構成比)	(94.3%)	(94.1%)		
セグメント利益	3,535	2,421	▲ 1,114	68.5
食料卸売				
売上高	3,560	3,622	62	101.8
(売上高構成比)	(4.0%)	(4.1%)		
セグメント利益	321	340	19	106.0
不動産及びサービス				
売上高	1,281	1,325	44	103.4
(売上高構成比)	(1.4%)	(1.5%)		
セグメント利益	357	422	65	118.2
その他				
売上高	232	237	5	101.9
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	47	33	▲ 14	70.2

(注) 平成27年4月1日に森永市場開発㈱を設立し、「食料品製造」及び「食料卸売」セグメントの一部事業を統合したことに伴い、第1四半期連結会計期間よりセグメント区分の見直しを行いました。

その結果、森永市場開発㈱は「食料品製造」セグメントに含め、従来「食料卸売」セグメント及び「その他」に含めていた森永ビジネスパートナー㈱は「その他」に変更しております。

なお、前第3・4四半期連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

④ 食料品製造事業の国内、海外売上

(単位:百万円)

	平成27年3月期 第3・4四半期	平成28年3月期 第3・4四半期	前期比較	前期比(%)
国内	75,983	74,877	▲ 1,106	98.5
海外	7,879	8,085	206	102.6

海外売上高比率(対連結売上高)	8.9%	9.2%
-----------------	------	------